

留学先大学： 西オーストラリア大学
 留学先での所属学部・研究科： Arts and Humanity
 留学先での在籍身分： Exchange Student
 留学期間： 2013 年 7 月～ 2014 年 7 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部
 学年（出発時）： 3
 本報告書記入日： 2013 年 9 月 5 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

先輩の留学報告書、オーストラリア大使館、日本大使館HPなど。
 実際に留学していた（している）先輩に質問したり、UWAから来ている留学生に質問したりしていた。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
- 住居（寮，アパート）の名前：
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____ 業者を探して契約した
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 30分，バス
- ・住居の周りの環境はどうか。：

住宅地と公園。パースはCityの外はだいたい静かな住宅地と広い公園がたくさんある。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

ホストファミリーが作ってくれる食事。昼ごはんは自分でサンドイッチを作ったりしています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつけられましたか。トラブルはありませんでしたか。：

ホームステイの業者は、語学学校斡旋とセットのものが多かったため、ホームステイのみの斡旋を探すのが大変だった。また、現地の斡旋会社だったため、手続きはすべて英語で、国際電話とメールを用いてやりとりした。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

渡航前に履修希望リストを提出するが、その履修科目が大学側から認められていたとしても、時間割の重複が起こることがほとんどなので、現地での履修登録時に何度も選りなおしが必要になった。事前に時間割の確認ができるのであれば、確認したうえで履修科目を考えると現地での手続きはスムーズになると思う。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	EDUC1103	Lesley Vidovich	3	6	約80	毎週予習としてテキストを読む。エッセイ課題やチュートリアル（ゼミ形式の少人数クラス）でのプレゼンテーションがある。期末テストもあり。
2	ASIA1002	Stephen Dobbs	2	6	約50	毎週予習としてテキストを読む。チュートリアルでディスカッションをするための準備問題があるので、事前にする。プレゼンテーションとエッセイ、期末試験がある。
3	LING1002	John Henderson	3	6	約100 人	毎週事前に問題を解いてチュートリアルで提出する。オンラインのクイズが4回、期末テストがある。
4	HUMA1902	Penny Hawken	3	6	約20人	事前にテキストを読んで臨むことが望ましい。ほぼ毎週課題があり、オンラインまたは紙ベースで提出するものがある。プレゼンテーション、エッセイ、期末試験がある。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

一つの科目につき、レクチャー（45分）が1つか2つ、チュートリアル（45分。ゼミ形式のもの）が1つ、ワークショップ（45分。ゼミ形式のもの）が1つある。レクチャーは科目にもよるが、大人数で講義をうける。チュートリアルとワークショップは少人数でディスカッションメインの授業。成績は出席、チュートリアルでの取り組み、課題、期末テスト等で評価される。ただ出席しているだけではなく、発言したりグループワークでの取り組みなどが重視されている。現地学生は、チュートリアルに慣れている為か、よく発言するので、それについていくのが大変だが、発言しないと何も考えがないものと認識されてしまう。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	EDUC110 3, lecture	ASIA1002 , Tuto	HUMA19 02, lecture,Tu to,Work	EDUC110 3,Tuto, Work			
11:00							
12:00							
13:00							
14:00		LING1002 , lecture1	ASIA1002 ,lecture2 LING1002 ,Tuto	LING1002 ,lecture2			
15:00	ASIA1002 , lecture1						
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

英語環境にもだいぶ慣れてきましたが、やはりまだ授業（特にチュートリアルとワークショップ）ではなかなか発言するのが難しく、歯がゆい思いをしています。交換留学生だからといって「英語がしゃべれない」では通用しません。グループワークではクラスメイトと意思疎通をするのが大変ですが、私が伝えようとするのを相手も理解しようとしてくれるため、助かっています。授業中発言出来なかったときは、なるべく先生に質問しに行くなど、理解している・参加しようとしている意志を示すように心がけています。

大学内では日本人学生に会うことはあまりありません。中国、韓国、ブラジル、ヨーロッパからの留学生が多い印象をうけます。英語が母語でなくても、流暢に話す人がほとんどです。エッセイの書き方、プレゼンテーションの仕方などを教えてくれるUniSkillという団体があったり、授業によってはStudy Groupという4～5人で集まって先輩にアドバイスをもらいながら勉強できるものもあり、サポートはあります。ただ、大学側からアナウンスされることはあまりないので、個人でEmailをチェックしたり、掲示やオリエンテーションでの資料をチェックしないと機会には得にくいかなと思います。

私は、寮が高かったためホームステイをしています。前例がなかったので手続き等が大変でした。実際ここで出会う留学生の多くは大学寮に入っていますが、同じホームステイ斡旋業者を使っている人もいました。1学期目はホームステイで、来学期からはハウスシェアか寮にしたいと考えていましたが、費用を考えると、ホームステイが一番安いのかもかもしれません。寮は、大学の前にあるので通学が楽で、友達もできやすいというメリットがあり、ホームステイでは現地の生活を実際に体験できるメリットがあるので、どちらがいいとは言い切れませんが…。

大学のキャンパスや周辺は自然がいっぱいで、公園のなかにキャンパスがあるような感じですね。図書館でもって勉強するのに疲れたら、芝生やベンチでリフレッシュすることもできます。冬は天気の変化が激しく、暴風雨かと思えばすぐ晴れて、また暴風雨…という気候が厄介ですが、間もなく春になり、晴れの日が多くなるそうで楽しみです。

パースは基本的にお店やスーパーの閉店時間が早く、休日でも閉店していたり、バスが運休していることも珍しくありません。24時間営業のお店は今のところ発見していません（笑）。バスが時間通りにこなかったり、「アバウトやなあ」と思うこともあります。日本とは違ったのんびりした感じも異文化体験のひとつかなと思います。

人はたいてい親切な人が多く、家の近くの道を歩いていて、すれ違う時にあいさつを交わしたり、にっこりしたり…小さなことですが、日本には無くなりつつある「あたたかさ」のようなものを感じています。

あと2週間でこっちにきて2か月、そして間もなくこのセメスターも半分を過ぎようとしています。毎日課題や予習で必死ですが、休日にCityや公園へサイクリングに出かけたりして少しリフレッシュしつつ、とりあえず、まずは夏休みまで頑張ります。